

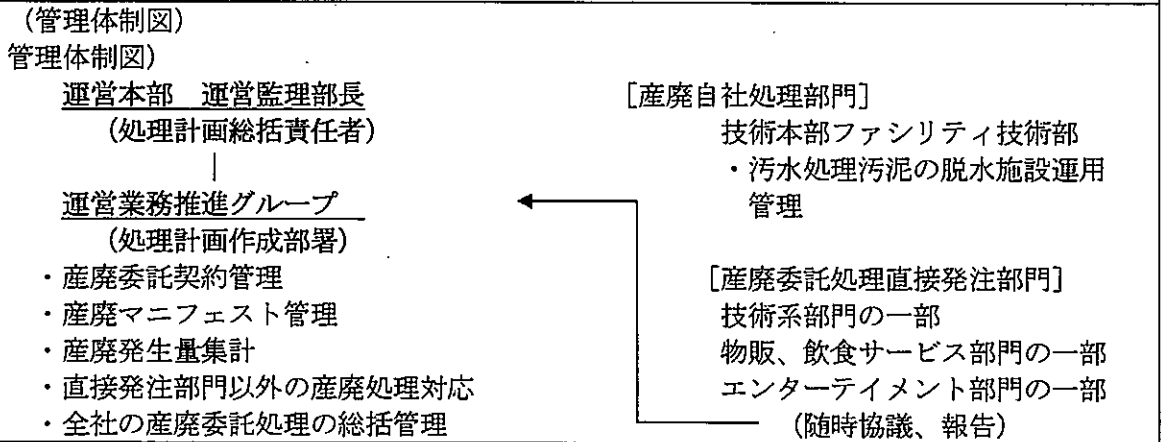
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年6月30日</p> <p>千葉県知事 熊谷 俊人 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 〒279-8511 住 所 千葉県浦安市舞浜1番地1 氏 名 株式会社オリエンタルランド 代表取締役社長 吉田 謙次 電話番号047-305-5008</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社オリエンタルランド 東京ディズニーランドおよび東京ディズニーシー
事業場の所在地	千葉県浦安市舞浜1番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：生活関連サービス業・娯楽業 中分類：娯楽業
②事業の規模	売上高：483,123百万円（令和5年3月期）
③従業員数	22,024人（令和5年3月31日現在） [正社員：5,213人 準社員：16,811人]
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【別紙1】のとおり。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	824.98 t	67.76 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：自社汚水処理施設を稼働、脱水汚泥の抑制をはかった。 グリストラップの清掃実施、汚泥搬出量を抑制した。 廃油：廃鉱物油、廃食油の有価売却を促進した。 廃食油の選別徹底等により下油の搬出量削減をはかった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	820.00 t	67.00 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年同様の取り組みを継続実施する。 (入園者数により変動する。)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別強化（発生時および選別施設での作業）により産廃から有価物への転換を推進している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 実施なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥：自社污水处理施設において流動担体の導入（処理の効率化）および下水処理にて対応したため、脱水汚泥の発生がなかった 廃油：実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 汚泥：今年度において自社污水处理施設内の脱水機を稼働させる予定。これによる脱水汚泥の排出が見込まれる。 廃油：予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 実績なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	824.98 t	67.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量	799.94 t	0.91 t
	再生利用業者への処理委託量	1.91 t	66.85 t
	認定熱回収業者への処理委託量	23.13 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 汚泥：再生利用業者への委託を推進した。 廃油：再生利用業者への委託を推進した。また、有価売却した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	820.00 t	67.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	800.00 t	7.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.00 t	60.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	19.00 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>汚泥、廃油ともに優良認定処理業者および再生利用業者へ処理委託を推進する。また、有価売却する事も推進する。</p>		
※事務処理欄			

【別紙1】

産業廃棄物処理計画書(第1面)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

発生業務	品目No.	委託処理産廃
汚水処理	A	水処理設備清掃汚泥
	B	水処理設備無機汚泥
	C	水処理設備砂槽汚泥
施設・設備・機器等管理	D	厨房グリストラップ汚泥
	E	アトラクション等水路清掃汚泥
	F	ごみ処理施設地下ピット汚泥
	G	ビルピット汚泥
	H	メンテナンス系汚泥
	I	給油所トラップ廃油
	J	メンテナンス系廃油・廃液
	K	メンテナンス系廃材
物販・飲食サービス	L	ショー関係廃材
	M	廃食下油
	N	浄水フィルター
	O	厨房機器類
	P	店舗什器
	Q	混合廃棄品
	R	木製パレット
その他清掃・サービス全般	S	廃食器類
	T	汚損ビニール等
	U	廃プラスチック類
	V	金属ごみ
管理・事務	W	割れ物
	X	OA機器類
	Y	オフィス家具・備品・什器

種類	中間処分	最終処分	該当品目
汚泥	生物処理	再生・軽量骨材埋立	A・D・G
	薬注固化	埋立	B
	脱水	再生・セメント原料	C
	コンクリート固化	埋立	E
	焼却	埋立	F
	焼却	再生・電力、スラグ等	N・Q
廃油	焼却	再生・路盤材	H
	油水分離	再生・再生油	I・J
廃プラスチック類	油水分離	再生・飼料、工業用	M
	破砕	再生・ボイラー燃料	K・L
	破砕	再生・プラスチック原料	L・O・U・X・Y
	破砕	再生・固形燃料	L・P・Q・T・U・Y
	破砕	埋立	L・P・Q・U
木くず	焼却	再生・電力、スラグ等	Q・U
	破砕	再生・ボイラー燃料	K
金属くず	破砕	再生・燃料チップ	R
	破砕	再生・金属製品、製鉄原料	K・L・O・V・X・Y
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	焼却	再生・電力、スラグ等	Q
	焼却	再生・電力、スラグ等	Q
	破砕	再生・路盤材	S
	破砕	再生・ガラスウール	K
	破砕	埋立	W

別紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
	① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
		排出量	1353.60 t	147.60 t	57.54 t	8.23 t
		（これまでに実施した取組） 廃プラスチック類：発生時に分別強化により、有価物へ転換および再利用を推進した。 木くず：輸送用パレット等の樹脂化へ転換し、発生の抑制に努めた。 金属くず：専門性の高い委託先の選定により産廃処分量を減らし有価物へ転換推進した。 ガラス・コンクリート・陶磁器くず：使用品の樹脂化および再資源化を推進した。				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
		排出量	1300.00 t	140.00 t	50.00 t	8.00 t
		（今後実施する予定の取組） 廃プラスチック類：弊社から排出される廃プラスチック類の資源化、商品化の検討。 ガラス陶磁器くず：再資源化を推進する。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実績なし。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	1353.60 t	147.60 t	57.54 t	8.23 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1157.52 t	0 t	11.35 t	7.23 t
	再生利用業者への 処理委託量	156.49 t	147.60 t	46.19 t	1.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	39.59 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 優良認定業者への委託、および再生利用業者へ委託を優先的に推進した。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	1300.00 t	140.00 t	50.00 t	8.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1150.00 t	0 t	20.00 t	7.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	120.00 t	140.00 t	30.00 t	1.00 t
	認定熱回収業者への処 理委託量	30.00 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 分別強化し、抑制に努める。また、優良認定業者と再生利用業者へ優先的に処理を委託する。				